



2025年3月31日

各 位

会 社 名 シキボウ株式会社  
代表者名 代表取締役 社長執行役員 尻家 正博  
(コード番号 3109 東証プライム)  
問合せ先 上席執行役員  
コーポレート部門長 伊丹 秀典  
(TEL 06-6268-5421)

### シキボウグループ新中期経営計画「TG25-27」の策定に関するお知らせ

当社グループは、2025年度から2027年度を対象とした中期経営計画「TG (Transformation for Growth) 25-27」を策定し、2025年3月31日の取締役会において決議しましたので、その概要について下記のとおりお知らせします。

### 記

#### 1. 前中期経営計画「ACTION22-24」の振り返りについて

##### (1) 前中期経営計画「ACTION22-24」の基本方針

- ① 経営基盤の強化
- ② 次の革新的成長に向けた取組み
- ③ サステナビリティ経営への取組み

##### (2) セグメント別売上高／営業利益の推移

(単位：百万円)

セグメント	2022年度 (実績)		2023年度 (実績)		2024年度 (予想)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
織 維	19,935	△ 609	19,899	△ 277	20,000	150
産業材	12,628	520	13,500	555	13,600	200
不動産・サービス	5,941	2,004	5,896	1,978	6,000	2,000
調 整	△ 612	△ 697	△ 615	△ 827	△ 600	△ 1,050
連結合計	37,893	1,217	38,681	1,428	39,000	1,300

### (3) 「ACTION 22-24」の振り返り（総括）

#### ① 経営基盤の強化

- ・新中核事業の規模の拡大への取組みは、化成品事業の新たな市場展開に向けた設備投資で計画していた新工場が、2025年1月に竣工し、生産増強体制が整いました。複合材料事業については、航空機エンジン部品の生産が回復してきており、航空・宇宙分野の新規案件の獲得も進んでいます。
- ・新たな市場展開に向けた設備投資として、化成品事業とともに計画したりネンサプライ事業の新工場が、2023年12月に竣工し、インバウンドによる需要増への体制が整い、フル稼働しています。
- ・海外市場の開拓については、台湾、ベトナムの拠点整備を進めました。今後は、新規顧客・新規市場への販売を伸ばしていく予定です。
- ・ポートフォリオの見直しについては、ノンコア事業であるゴルフ場、陶磁器事業の株式譲渡をおこないました。今後は、既存事業の効率化・構造改革を進めていきます。
- ・財務基盤の強化については、化成品事業での新工場建設に伴い、第三者割当増資による資本増強を実施しました。
- ・人的資本の充実については、従業員の採用難の中で、各種採用施策や研修の充実を図りました。価値観が多様化する中、人材確保と定着施策も引き続き進めていきます。
- ・デジタル投資については、会計システムの更新をおこないました。今後は、遅れているDX推進とさらなる業務効率化を図ります。

#### ② 次の革新的成長に向けた取組み

- ・新中核事業に続く、新たな成長の芽の育成・研究開発については、繊維事業ではサステナブル素材の開発など、次の成長に向けた研究を進めています。中央研究所においては将来を視野に入れた複合材料の研究を進めており、引き続き事業に結びつくものに育てていきます。

#### ③ サステナビリティ経営への取組み

- ・繊維事業では、バイオグランデ®や彩生®、コットレジン®など環境対応商材の開発を進めました。他の事業においても様々な社会課題解決につながる商材の開発・提供を進めています。
- ・GHG排出量削減への設備投資として、長野事業所、株式会社シキボウ堺で自家消費型太陽光発電設備の導入を進めました。また、各事業拠点において省エネ対策に取り組んでいます。引き続き2030年での削減目標達成に向けた取組みを進めていきます。
- ・従業員のやりがいや働きやすい職場づくりに向けて、エンゲージメントサーベイを実施し、職場環境の改善や制度の見直しを進めました。さらなるエンゲージメント向上のための改善を進めていきます。

## 2. 新中期経営計画「T G (Transformation for Growth) 2 5 - 2 7」

### (1) 概要

当社グループの長期ビジョン「Mermaid 2042」では、

「あなたにもっと寄り添い、愛されるシキボウグループへ」

- ・従業員にもっと寄り添い、笑顔あふれる心豊かな人生の実現に貢献します
- ・お客様にもっと寄り添い、まだ見ぬ世界を当たり前にする技術で貢献します
- ・地球にもっと寄り添い、持続可能な社会に貢献します

を掲げておりますが、今回の新中期経営計画策定を進める中で、私たちが「めざす姿」について、より具体的な言葉として以下のとおり策定しました。

### めざす姿

① 従業員が自分のありたい姿を実現するために、仕事を通じて成長し、安心して働ける職場環境をめざします。

- ・働きやすい、職場環境・制度・組織風土の改善
- ・従業員の成長のための機会の創出
- ・多様な人材の確保・育成、機会均等
- ・健康推進・職場の安全衛生



② 繊維で培った技術やサービスを通じ、社会課題解決や、お客様の安心・安全・快適な暮らしの実現をめざします。

- ・安心・安全・快適な製品やサービスの提供
- ・技術を進化させ、社会のニーズに対応した新製品の開発・提供
- ・国内のみならず海外市場も含めた製品の提供



③ 環境や人権に配慮した製品・サービス、ものづくりで、持続可能な社会の実現をめざします。

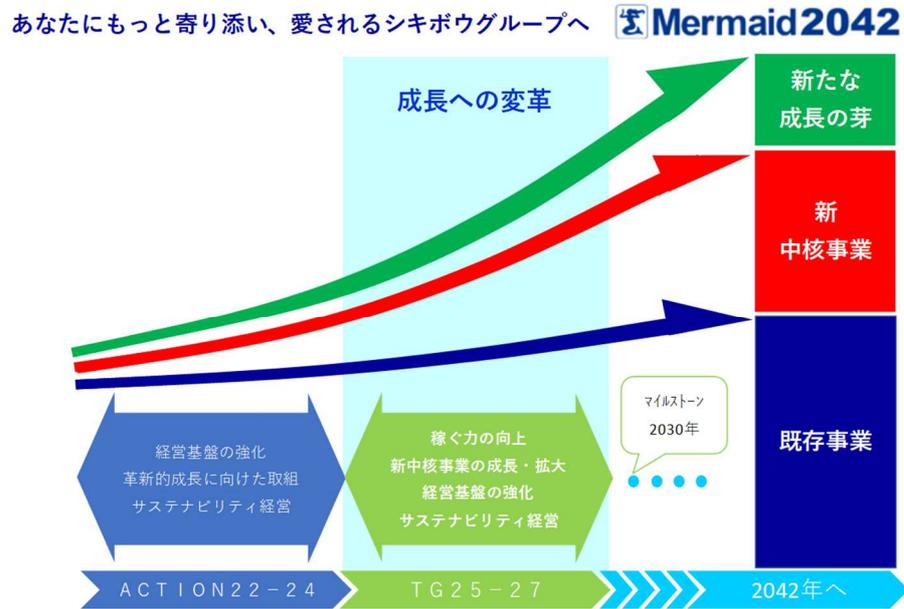
- ・環境配慮型商品・サービスの開発・提供
- ・気候変動に対応した製品の開発・提供
- ・公正で、持続可能な原材料調達や製品供給の実現
- ・資源循環型社会実現への貢献
- ・事業活動における気候変動対策とその緩和策の推進



「T G 2 5 - 2 7」では、「めざす姿」に基づき、長期ビジョン「Mermaid 2042」へのマイルストーンである、2030年に当社グループのめざす目標（売上高550億円、営業利益36億円）を掲げ、2030年に向けた、成長の3ヵ年として取り組んでいきます。

これまでの「A C T I O N 2 2 - 2 4」で進めてきた経営基盤の強化と次の成長に向けた取組みから、新中期経営計画では、「成長への変革（Transformation for Growth）」

のステージととらえ、「TG25-27」といたしました。「稼ぐ力の向上」や「新中核事業の成長・拡大」に取り組んでいくとともに、繊維で培った技術・経営資源をもとに新たなビジネスにチャレンジしてまいります。



## (2) 基本方針

繊維で培った技術・経営資源をもとに、新たな価値を創造し更なる成長を実現する

### ① 稼ぐ力の向上

- ◆ 繊維事業、産業資材事業のグローバル販売強化
- ◆ 生産力・販売力強化
- ◆ 新たなビジネスへのチャレンジ（新規顧客・新規市場開拓）

### ② 新中核事業の成長・拡大

- ◆ 食品・化成品事業の食品分野の販売拡大
- ◆ 複合材料事業の航空・宇宙分野の取組み拡大
- ◆ 新たな成長の芽の育成・研究開発推進

### ③ 経営基盤の強化

- ◆ 資本コストを重視した事業の構造改革
- ◆ DXの推進による業務の効率化
- ◆ 資金効率の改善による財務基盤強化
- ◆ 人的資本経営の推進

### ④ サステナビリティ経営への取組み

- ◆ GHG 排出量削減
- ◆ サステナブル商材の販売拡大
- ◆ 人権への配慮

(3) 数値目標

(単位：百万円)

	2025年度	2026年度	2027年度	2030年度
	計画	計画	計画	目標
売上高	41,000	44,100	48,000	55,000
営業利益	1,300	1,700	2,500	3,600
経常利益	1,000	1,400	2,100	3,200
当期純利益	700	900	1,400	2,200

(4) セグメント別事業戦略

今回の中期経営計画から、これまで産業材セグメントとしていた産業資材事業と新中核事業である機能材料事業を区分し、それぞれ産業資材セグメント、機能材料セグメントとしております。

売上高

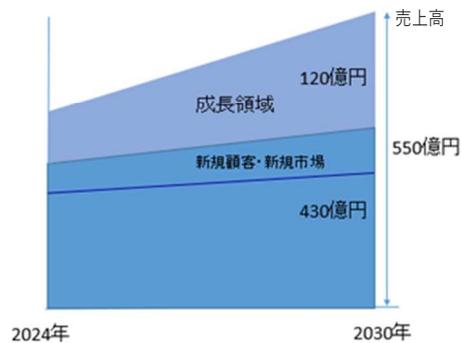
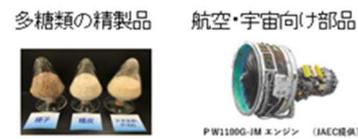
(単位：百万円)

セグメント	2025年度	2026年度	2027年度	2030年度
	計画	計画	計画	目標
繊維	21,000	23,300	25,600	29,000
産業資材	7,400	7,500	7,700	7,900
機能材料	7,200	7,800	9,000	12,100
不動産・サービス	5,900	6,000	6,200	6,500
調整	-500	-500	-500	-500
連結合計	41,000	44,100	48,000	55,000

営業利益

(単位：百万円)

セグメント	2025年度	2026年度	2027年度	2030年度
	計画	計画	計画	目標
繊維	350	600	950	1,100
産業資材	200	250	300	650
機能材料	0	150	550	1,050
不動産・サービス	1,900	1,900	1,900	2,050
調整	-1,150	-1,200	-1,200	-1,250
連結合計	1,300	1,700	2,500	3,600



① 繊維セグメント

- ・ サステナブル素材の販売拡大
- ・ グローバル販売の拡大
- ・ 新規顧客・新規市場への販売拡大
- ・ 海外・国内生産拠点の連携と効率化
- ・ 生産設備強化のための設備投資

② 産業資材セグメント

- ・国内生産体制の効率化と販売強化
- ・現有設備と技術を応用した新規分野の発掘と新商品の開発
- ・海外事業の販売拡大と収益力アップ
- ・空気清浄装置分野での生産体制の見直しとメンテナンス事業の拡大

③ 機能材料セグメント

【食品・化成品事業】

- ・新工場を活用した生産体制の再構築
- ・新規素材（低粘度、脱臭、殺菌品）、ブレンド品の販売拡大

【複合材料事業】

- ・航空・宇宙分野の新規案件の生産立上げ
- ・エネルギーインフラ分野の新規量産品案件の受注
- ・航空・宇宙分野での業務提携の検討

④ 不動産・サービスセグメント

【不動産賃貸事業】

- ・グループ全体の遊休地の有効活用
- ・既存賃貸事業の活性化促進

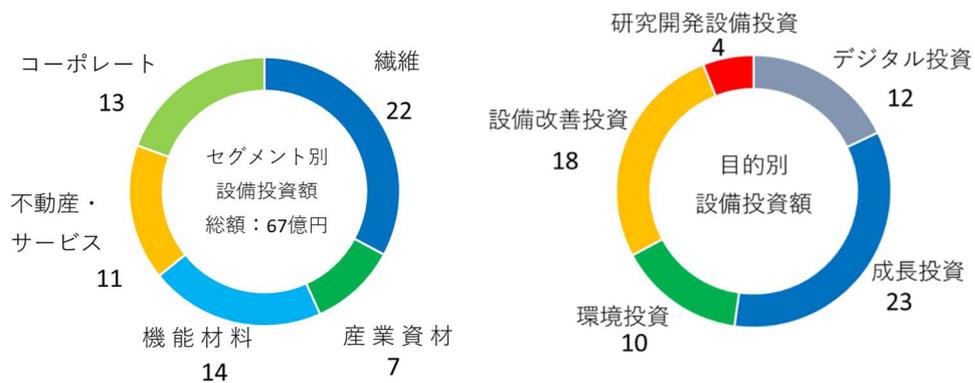
【リネンサプライ事業】

- ・生産設備更新による効率化と増産体制の構築
- ・新規取引先の獲得

(5) 投資および資本政策

① 設備投資計画

更なる成長に向けた成長投資、既存設備の改善、研究開発設備の充実、省エネ・環境対策、DX推進へのデジタル投資など当社グループ全体で総額 67 億円の設備投資を計画しています。

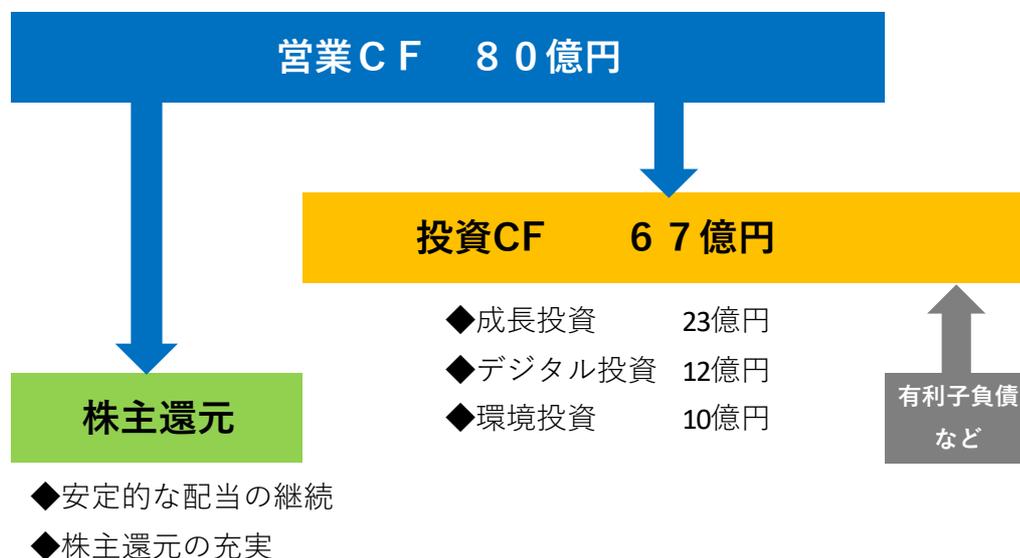


減価償却費 64 億円 (既存設備を含む)

(単位: 億円)

② キャピタル・アロケーション

資本効率の向上、資本コストを意識し、創出した営業CFから積極的な成長投資と株主還元の充実を図ります。



(6) 経営指標 (連結)

	24年度末 (予想)	27年度末 (計画)
有利子負債(億円) (D/Eレシオ)	256 0.73	260 0.72
自己資本比率	40.9%	41.1%
総資産 (億円)	855	875
ROA	1.1%	2.4%
ROE	1.9%	3.9%
ROIC	1.9%	2.9%

(7) サステナビリティ経営について

① サステナビリティ基本方針

当社グループは、経営理念および長期ビジョンのもと、持続可能な社会の実現と持続的な企業価値の向上を目指し、サステナビリティ基本方針を定め活動しています。

② マテリアリティ

当社グループでは、当社グループへの影響度、ステークホルダーへの影響度を軸としたマテリアリティマップを作成し、当社グループが取り組むべきマテリアリティを次のとおり特定しております。各マテリアリティと重点活動項目について、具体的な対処方針と目標を定め、それらを事業戦略に組み込み、取組みを進めております。

マテリアリティ	重点活動項目	関連するSDGs
気候変動対策 およびその緩和	温室効果ガスの排出量削減 環境配慮型商品の開発と販売拡大	
資源循環型社会 実現への貢献	3R (Reduce, Reuse, Recycle) 推進による廃棄物削減とリサイクルシステムの市場への浸透	
雇用 (働きやすさ)	ダイバーシティと機会均等 労働安全衛生活動の推進 人材育成と技術の伝承 人権の尊重	
お客様の安全 衛生への貢献	安心で安全な製品・サービスの提供	
サプライチェーン マネジメント	厳格な品質管理や明確なトレーサビリティ管理 持続的な原材料調達および供給の実現 人権の尊重	
コーポレート ガバナンスの 強化	コンプライアンスの徹底 経営の客観性と透明性の確保 情報セキュリティ対策の強化 リスクマネジメント活動の推進 腐敗防止	

### ③ 環境対応

- ・ GHG 排出量削減
- ・ 環境配慮型商品・サービスの開発・製造・販売
- ・ 事業活動における環境対策（水・廃棄物削減等）

### （8） 人的資本経営目標

- ① 働きやすい、職場環境・制度・組織風土の改善
  - ・ 能力・役割・行動・成果にもとづく人事処遇制度の運用
  - ・ 従業員エンゲージメントサーベイを継続実施し課題を改善
- ② 従業員の成長のための機会創出
  - ・ 従業員が能力を最大限に発揮できる教育・研修など、支援制度の実施
  - ・ 社内の人材育成により、各人が成長し、チャレンジできる機会の拡大
- ③ 多様な人材の確保・育成、機会均等
  - ・ 事業戦略に沿った、未来を担う人材の確保
  - ・ ダイバーシティの推進（多様性に対応した制度改善、確立、運用）
- ④ 健康推進・職場の安全衛生
  - ・ 健康経営の実践

以上

#### 【ご注意】

本資料における業績等の予想および計画の将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等の結果は、今後の様々な要因により、予想および計画と異なる可能性がありますのでご承知おきください。